

## Ⅱ 平成27年度当初予算の特徴

※ 2月補正予算で計上した地域住民生活等緊急支援のための交付金事業も含めて記載しています。

### 県内経済の活性化

県内経済は、法人二税が地方法人特別税を加味するとリーマンショック前の水準に回復し、雇用情勢も完全失業率が低下を続け回復傾向にあるなど、着実に上向いてきている状況です。

一方で、平成26年度は消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動や物価上昇、円安に伴う輸入物価の上昇などがある中で、賃金の上昇が物価上昇に追い付いていないための個人消費の弱さが指摘されており、今後の経済への影響が懸念されます。

このため、個人消費を喚起する商品券の発行や、オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致、観光の振興、中小企業の支援の充実、雇用の改善などを進め、県内経済の活性化を図ります。

#### 《オリンピック・パラリンピックを契機とした活性化》

東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致に向け、平成27年8月に開催される**世界陸上北京大会の事前合宿**を受け入れるとともに、新たに、**国際スポーツ競技大会の開催経費の助成**を行います。また、誘致に活用する外国向けの**千葉県イメージアップ動画の制作**や**総合スポーツセンター武道館の空調整備**などを進めます。

市町村等が行うキャンプ誘致などの取組を支援するため、新たに、ワンストップ相談窓口である「**スポーツコンシェルジュ**」を設置するとともに、**パラリンピック競技のモデルキャンプに対する補助**や**市町村振興資金を活用した施設整備・改修資金の無利子貸付**を行います。

外国人観光客の受け入れ体制を強化するため、**観光施設や商店街のおもてなし力の向上**や**観光案内板、標識の整備**を進めるとともに、**公衆無線LANの整備**を加速するため、**補助率、事業費を大幅に拡充**します。

また、オリンピック・パラリンピック出場を目指す**アスリートの強化・支援事業**を拡充します。

東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業	15,000千円 (別冊9頁)
北京世界陸上事前合宿受入事業【新規】	77,000千円 (別冊10頁)
国際スポーツ競技大会支援事業【新規】	10,000千円 (別冊11頁)
東京オリンピック・パラリンピックを見据えた千葉県イメージアップ動画の制作【新規】	15,000千円 (別冊12頁)
通訳ボランティア養成事業	7,000千円 (別冊13頁)
総合スポーツセンター武道館空調設備整備事業【新規】	14,130千円 (別冊14頁)
千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業【新規】	24,500千円 (別冊15頁)
パラリンピック選手のキャンプ受入体制整備事業補助金【新規】	18,000千円 (別冊16頁)
東京オリンピック・パラリンピック関連施設に関する貸付事業【新規】	
特別会計市町村振興資金	300,000千円 (別冊17頁)
海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業【新規】	10,000千円 (別冊18頁)
訪日観光客商店街おもてなし事業【新規】	10,000千円 (別冊19頁)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた受入体制の整備事業	22,400千円 (別冊20頁)
外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業【新規】	
(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)	
	100,000千円 (別冊21頁)
東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業	115,000千円 (別冊22頁)

## 《国内への魅力発信》

県内経済の活性化を進め、千葉のポテンシャルをさらに高めるため、**東京湾アクアライン通行料金800円**を継続します。

また、平成28年度に3回目の「**ちばアクアラインマラソン**」を開催することとし、PRイベントの実施や運営方法の検討など準備を進めていきます。

圏央道神崎～大栄間が開通することを踏まえ、**アクアライン及び圏央道を活用した観光プロモーション**を展開するとともに、**夏の旅行シーズン**には、**千葉県道路公社所管の有料道路の無料開放**や、**成田空港から県内観光地への無料バスの運行**などにより、**宿泊・滞在型観光**を促進していきます。

また、**民間観光施設のトイレの整備、改修費用の補助率を引き上げ**、観光地の魅力向上を図ります。

さらに、市町村と連携した**プレミアム付商品券**を発行し、県内の消費を喚起するとともに、県内宿泊施設で使える**プレミアム付宿泊券等**の販売や**インターネットによる県産品の割引販売、東京都内での期間限定アンテナショップの設置**など、県外からの消費も呼び込みます。

その他、他県から千葉県への転入を促していくため、県内市町村の**居住地としての魅力を紹介する電子ブック**を作製するほか、転入する際に、**転職先だけでなく、居住地の住宅、医療、教育など暮らし全般に関わる情報を一体的に提供する窓口を整備**するとともに、**転職に不安がある場合には、正式な雇用の前に「お試し就業」**をすることができる**助成金**を新設します。

東京湾アクアライン料金割引事業	500,000千円（別冊23頁）
ちばアクアラインマラソン開催準備事業	46,000千円（別冊24頁）
アクアライン及び圏央道を活用した観光プロモーション	20,000千円（別冊25頁）
千葉県道路公社有料道路の夏期無料開放【新規】 （地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分）	770,000千円（別冊26頁）
成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業【新規】 （地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分）	100,000千円（別冊27頁）
宿泊・滞在型観光推進事業	40,000千円（別冊28頁）
観光地魅力アップ整備事業	200,000千円（別冊29頁）
観光地トイレ整備スピードアップ事業【新規】 （地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分）	100,000千円（別冊30頁）

市町村と連携したプレミアム付商品券の発行【新規】 (地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)	3,200,000千円 (別冊31頁)
ちば宿泊・観光優待キャンペーン事業【新規】 (地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)	360,000千円 (別冊31頁)
ふるさと産品ネット販売促進事業【新規】 (地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)	350,000千円 (別冊31頁)
都内アンテナショップ設置モデル事業【新規】	20,000千円 (別冊32頁)
ちばに住もうキャンペーン事業【新規】	10,000千円 (別冊33頁)
ちばへの転職支援事業【新規】 (地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)	110,000千円 (別冊34頁)

## 《海外への魅力発信》

県産農林水産物の販路拡大、外国人観光客の誘致等を進めるため、アジア地域で**知事のトップセールス**を行うとともに、**観光ミッション団の派遣や千葉県フェア、現地テレビ放送などを活用した情報発信、訪日教育旅行の誘致等**、集中して、海外への魅力発信を行っていきます。

海外における知事トップセールス	20,000千円 (別冊35頁)
外国人観光客向けプロモーション事業	24,950千円 (別冊36頁)
世界に向けた千葉の魅力発信事業	39,000千円 (別冊37頁)
「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業	24,200千円 (別冊38頁)
海外メディアを活用した観光情報発信事業	26,600千円 (別冊39頁)
訪日教育旅行誘致事業	21,000千円 (別冊40頁)
訪日外国人に向けたちばの地酒PR事業【新規】	2,000千円 (別冊41頁)

## 《中小企業への支援》

中小企業の積極的な設備投資等を支えるため、**中小企業振興資金**の融資枠5,700億円を継続するとともに、その枠の中で**中小企業が保有する動産を担保とする新たなメニューを追加**します。また、本県の**成長産業**として期待される**健康・医療分野**に参入する**中小企業への支援を拡充**します。

中小企業振興資金	190,000,000 千円 (融資枠 5,700 億円) (別冊 42 頁)
動産担保融資に係る手数料補助【新規】	20,000 千円 (別冊 43 頁)
千葉の未来を支える成長産業の育成	40,000 千円 (別冊 44 頁)

## 《産業振興》

**東京湾アクアラインから圏央道の沿線**に位置する、**茂原にはる工業団地及び袖ヶ浦椎の森工業団地**について、平成29年度の分譲に向け造成工事を進めるとともに、国内主要都市における知事のトップセールスなどで**企業誘致**も強力に進めます。

また、東京湾アクアライン、圏央道を活用して地域資源を連携させた**新商品・新サービスを創出**する取組への支援を拡充します。

特別会計工業団地整備事業	2,824,000 千円 (別冊 45 頁)
立地企業補助金	500,000 千円 (別冊 46 頁)
戦略的企業誘致の推進	18,044 千円 (別冊 47 頁)
東京湾アクアライン・圏央道を活かした地域産業活性化事業	40,000 千円 (別冊 48 頁)

## 《新エネルギー》

本県において高いポテンシャルのある**海洋再生可能エネルギー**の導入に向け、有望と思われる**海域の客観的データ**を得るため風況調査を実施します。また、本県は京葉臨海コンビナートを抱えるなど、水素の一大供給拠点として機能していくことが期待されることから、**新たなエネルギーとしての水素の利活用に関する研究**を進めていきます。

海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業	20,000 千円 (別冊 49 頁)
千葉の特色を活かした水素の利活用に関する研究【新規】	1,000 千円 (別冊 50 頁)

## 《創業支援》

県内経済の活性化に不可欠な、企業の「創業」を増加させていくため、新たに、**女性、若者、シニア世代など幅広い層の起業家を育成**するためのコンペを開催するとともに、**市町村が行う創業支援体制の構築にも支援**を行います。

ちば起業家応援事業【新規】	12,000千円（別冊51頁）
市町村による創業支援促進事業【新規】	10,000千円（別冊52頁）

## 《雇用》

回復の兆しのある雇用情勢をさらに好転させるため、「**ジョブカフェちば**」、「**千葉県ジョブサポートセンター**」において、若者、中高年者、子育て中の女性などに、きめ細やかな就労支援を行うとともに、**若年者や福祉人材**を対象に、職場体験しながらスキルを身に付け**正規就労に結び付ける**事業を進めていきます。

また、**障害者の雇用拡大**を進めるため、障害者雇用に取り組む企業を開拓し、就労を希望する障害者とのマッチングや雇用後のフォローアップ支援等を行います。

ジョブカフェちば運営事業	136,851千円（別冊53頁）
千葉県ジョブサポートセンター事業	35,738千円（別冊53頁）
緊急雇用創出事業	758,544千円（別冊54頁）
福祉・介護人材雇用推進事業【新規】 （地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分）	130,000千円（別冊55頁）
障害者雇用サポート事業【新規】	35,000千円（別冊56頁）

## 農林水産業の振興と社会基盤づくり

本県農林水産業は、生産者の減少と高齢化などにより生産額が伸び悩み、さらに国際化の進展による競争の激化で厳しい局面を迎えています。

そこで、「農林水産王国・千葉」の復活を目指し、マーケット需要に対応した産地強化や、6次産業化、経営の規模拡大や法人化など、生産効率を高める取組を進めていきます。

また、県民生活の利便性を向上し、県内外との交流、連携を活性化させ、活力ある千葉県を実現するために欠かせない、道路、鉄道、港湾などの社会基盤の整備も促進します。

### 《ちばの園芸》

生産者団体である公益社団法人千葉県園芸協会を中心に、県、全農千葉、農協などの関係機関が協同して実施している、産地連携による規格の統一化について、4品目から7品目に拡充するなど、**園芸農業の競争力を一層強化**していきます。

さらに、養液栽培施設など、**収益力の向上に必要な施設整備への助成を拡大**するとともに、競争力のある**新品種の開発や栽培技術の確立**を進めるため、**千葉県農林総合研究センターの建替に向け基本設計**を行います。

ちばの園芸産地活性化支援事業	25,000千円（別冊57頁）
新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業	300,000千円（別冊58頁）
園芸産地競争力強化総合対策事業	956,550千円（別冊59頁）
農林総合研究センター再編整備事業【新規】	24,497千円（別冊60頁）

### 《農地の集約化・担い手対策》

担い手への農地の集積を進めるため、**農地中間管理機構の体制強化**を図るとともに、**耕作放棄地の再生**も拡大していきます。また、新たな担い手を確保するため、**青年就農者に対する給付金を充実**するとともに、**市町村等が研修農場を設置する場合の支援**や**農業経営の法人化に対する支援**も増額します。

さらに、**農業の6次産業化**を促進するため、**新商品の開発等に必要な施設設備の整備に対する助成を拡充**します。

農地中間管理機構支援事業	410,290千円（別冊61頁）
耕作放棄地総合対策事業	91,000千円（別冊62頁）
青年就農者確保・育成給付金事業	475,806千円（別冊63頁）
地域で育てる新農業人研修事業	6,000千円（別冊64頁）
農業経営の法人化等支援事業	9,200千円（別冊65頁）
6次産業化推進事業	558,000千円（別冊66頁）

## 《米・畜産》

主食用米の価格低下や飼料用米の需要増に対応するため、**主食用米から飼料用米等への転換を推進**するとともに、新たに、地域ぐるみで連携体制を構築し、**高収益型の畜産経営を目指す取組に助成**を行い、地域全体の関連産業の活性化を進めます。

水田自給力向上対策事業	121,000千円（別冊67頁）
畜産競争力強化対策整備事業【新規】	200,000千円（別冊68頁）

## 《野生鳥獣被害対策》

イノシシなどの**野生鳥獣による農業被害等の防止**を図るため、市町村などが行う捕獲事業や防護柵の設置に対する助成を行います。平成27年度からは、新たにキョン、ハクビシン、アライグマを助成対象に追加します。

野生鳥獣総合対策事業	133,416千円（別冊69頁）
イノシシ等有害獣被害防止対策事業	210,000千円（別冊70頁）

## 《地域水産業の再生》

**漁協や市町村等、地域が一体となって**、コスト削減など効率的な漁業経営を計画的に実施し、**収益の向上を目指す取組に対する支援**を行います。

浜の活力再生プラン推進支援事業【新規】	30,471千円（別冊71頁）
---------------------	-----------------



## 《道路整備》

県内経済の活性化を支える道路ネットワークの確立を目指し、**北千葉道路、外環道**の整備を促進するとともに、**圏央道大栄～横芝間**の用地取得を強化します。特に北千葉道路の市川市～鎌ヶ谷市間については、早期着手に向け、予備設計を実施します。

その他、**圏央道、外環道のアクセス道路**の整備、県内各地の**観光拠点へのアクセス道路**の整備を推進していきます。

平成27年度は、外環道 高谷インターチェンジへ接続する（仮称）妙典橋や国道465号深掘バイパスの供用開始を予定しています。

道路橋りょう事業	50,446,430千円（別冊72頁）
北千葉道路整備事業	2,942,000千円 (債務負担行為 380,000千円)
うち市川市～鎌ヶ谷市間	142,000千円 (債務負担行為 60,000千円)
圏央道インターチェンジへのアクセス強化事業	2,064,000千円
外環道インターチェンジへのアクセス強化事業	2,993,000千円
ふさのくに観光道路ネットワーク事業	520,000千円 (債務負担行為 60,000千円)
直轄事業負担金（圏央道）	2,770,000千円
直轄事業負担金（北千葉道路）	1,000,000千円
直轄事業負担金（外環道）	9,400,000千円

## 《金田西地区土地区画整理事業》

周辺にアウトレットモールなど大型商業施設が開業している**金田西地区の土地区画整理事業**については、平成27年3月から公募により保留地の分譲を開始します。また、引き続き、その他保留地の早期分譲に向け、造成工事と区画道路の整備を進めます。

金田西地区土地区画整理事業	2,300,021千円（別冊73頁）
---------------	--------------------

## くらしの安全・安心の確立

千葉県が将来にわたって発展していくためには、まず県民生活の安全・安心を確立することが必要です。このため、近年、頻発する自然災害や大きな被害が懸念される首都直下地震等に備え、地域防災力の向上を図るとともに、インフラの耐震化など災害に強いまちづくりを進めています。また、振り込め詐欺やひったくりなど生活に身近な犯罪が依然として多発していることから、地域と連携した防犯対策を強化していきます。

### 《地域防災力の向上》

首都直下地震などに備え、**消防団の活性化**や**自主防災組織の育成**、帰宅困難者対策・津波避難対策等の**避難環境の整備**など、市町村が行う自助・共助の取組を幅広く支援する**総合支援補助金**を創設し、県全体の地域防災力の向上を図ります。

消防職員・団員への教育・訓練や、自主防災組織等の研修の場として整備を進めている**消防学校・防災研修センター**については、実施設計及び地盤改良工事を行います。

千葉県地域防災力向上総合支援補助金【新規】	150,000千円（別冊74頁）
消防学校・防災研修センター整備事業	376,000千円（別冊75頁）

### 《被災者支援》

大きな自然災害であるにもかかわらず、国の被災者生活再建支援制度の対象とならない被害の救済を図るため、新たに**県単独の被災者生活再建支援事業**を創設します。

千葉県被災者生活再建支援事業【新規】	20,000千円（別冊76頁）
--------------------	-----------------

### 《公共施設の防災対策》

**九十九里海岸・沿岸河川の津波対策**として進めている、堤防のかさ上げ・増設については、完成に向け、事業費を大幅に増額します。

また、全国で頻発している、土砂災害の被害を最小限に抑えるため、**土砂災害警戒区域の指定に必要な基礎調査やハザードマップの作成**を加速化します。

河川海岸津波対策事業	6,020,000千円（別冊77頁） （債務負担行為 734,000千円）
土砂災害防止事業	310,000千円（別冊78頁）

## 《施設の耐震化》

県立高校の耐震化については、125校全てを平成27年度末までに完了させます。

また、**私立学校や鉄道施設、医療施設の耐震化**への支援を継続するとともに、**衛生研究所の建替**や健康福祉センター、警察施設、橋りょうなど、**県有施設・インフラの耐震化**を進めます。

県立学校耐震化推進事業	10,380,600 千円 (別冊 79 頁) (債務負担行為 136,000 千円)
私立学校耐震化緊急促進事業	957,000 千円 (別冊 80 頁)
鉄道施設耐震対策事業補助	339,787 千円 (別冊 81 頁)
医療施設耐震化臨時特例整備事業	464,595 千円 (別冊 82 頁)
県有施設・インフラの耐震化の推進	4,411,194 千円 (別冊 83 頁) (債務負担行為 5,832,000 千円)

衛生研究所、市原健康福祉センター、銚子児童相談所、千葉中央警察署、銚子警察署、橋りょう、農業水利施設

## 《施設の長寿命化》

道路・河川管理施設、公園、農業水利施設、漁港などの老朽化に対応し、中長期的な維持管理経費を軽減するため、**長寿命化計画の策定を進めるとともに、計画的な修繕・改修**を行います。また、道路については、一層の交通環境の向上を図るため、**舗装道路修繕事業を拡充**します。

施設の長寿命化の推進	14,570,202 千円 (別冊 84 頁) (債務負担行為 1,087,000 千円)
橋りょう、道路、河川管理施設、海岸保全施設、都市公園、県営住宅、流域下水道 農業水利施設、漁港施設、交番 うち舗装道路修繕事業	5,800,000 千円

## 《防犯対策の強化》

県・市町村・警察・住民の連携により防犯体制を構築する**コンビニ防犯ボックス**を船橋市内・柏市内に1ヶ所ずつ新設し、立地条件や地域の実情による防犯効果の違いを検証します。また過去最悪のペースとなっている**振り込め詐欺による被害を防止**するため、若者向け動画サイトを通じたCM放映を行うなど、広報啓発を強化します。

ひったくり等の対策を強化するため、市町村が行う**防犯カメラ**の設置に対する支援を継続するとともに、新たに、**青色防犯パトロール車のドライブレコーダー**設置に対する助成を行います。また、自動車盗などの犯罪の温床となっていると指摘されている、いわゆる「**不法ヤード**」について、ヤード適正化条例に基づき**立入検査**等を実施します。

コンビニ防犯ボックス設置事業	38,500 千円 (別冊 85 頁)
振り込め詐欺被害防止広報啓発事業	131,000 千円 (別冊 86 頁)
市町村防犯対策設備設置事業補助	46,000 千円 (別冊 87 頁)
ヤード対策事業	5,776 千円 (別冊 88 頁)

## 子ども・子育て世代への支援の充実

近年、出生率はやや上向いてきているものの、依然として少子化は深刻な状態が続いています。しかし、千葉県の未来を担うのは子どもたちです。結婚、出産、子育てに対する不安を取り除き、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、子どもたちが、健やかに育ち、豊かな心と確かな学力を身に付けられるよう、児童虐待やいじめの根絶、教育環境の改善を進めていきます。

### 《子育て環境の充実》

「子ども・子育て支援新制度」の施行にあわせ、待機児童の解消及び子育て環境の向上を図るため、**民間保育所の施設整備に対する助成を増額するとともに、延長保育・病児保育・一時預かりに対する助成や、小規模保育・家庭的保育などの多様な保育ニーズへの支援を充実**します。

また、**放課後児童クラブや放課後子ども教室への支援**も増額し、地域における子育て支援体制の強化を図ります。

**子ども医療費**については、入院は中学校3年生まで、通院は小学校3年生までの助成を継続します。

また、**妊娠・出産に関する正しい知識を普及するためのセミナー**などを開催するとともに、結婚前から子育て期間中までの**女性が必要とする情報**を手軽に入手・管理できる**無料のスマートフォン用アプリの本格運用**を開始するなど、人口減少・少子化への対応を充実します。

子ども・子育て支援新制度関係事業【新規】	10,520,000千円（別冊89頁）
保育所緊急整備事業	5,537,000千円（別冊90頁）
保育所整備促進事業	1,000,000千円（別冊90頁）
小規模保育設置促進事業	1,478,000千円（別冊90頁）
放課後児童クラブ施設整備事業	249,000千円（別冊91頁）
放課後子ども教室推進事業	100,146千円（別冊92頁）
子ども医療費助成事業	6,700,000千円（別冊93頁）
人口減少・少子化に関するセミナー【新規】	1,000千円（別冊94頁）
（仮称）ちば ウーマン ダイアリー事業	20,000千円（別冊95頁）

## 《児童虐待防止》

児童虐待の未然防止・早期発見や虐待後のフォローアップの充実のため、**児童相談所職員を大幅に増員**するほか、新たにこども病院に**児童虐待専門コーディネーター**を配置し、医療機関と児童相談所との連携強化を進めていきます。

児童虐待防止対策事業【一部新規】 134,541千円（別冊96頁）

児童相談所職員の増員（児童福祉司 7人 児童心理司 3人）

## 《子どもの学力向上》

児童・生徒の学力向上のため、引き続き放課後の補充学習等を行う**学習サポーター**を派遣するとともに、外国語指導助手による授業や海外留学への支援、県内高校と外国の高校との交流強化など、**国際的に活躍できる人材の育成**を進めます。

ちばっ子「学力向上」総合プランの推進 156,517千円（別冊97頁）

国際的に活躍できる人材の育成【一部新規】 257,307千円（別冊98頁）

## 《いじめ防止対策》

いじめの根絶に向け、**小学校のスクールカウンセラーを倍増**するとともに、新たに、**臨床心理士や経験豊富な教員を中心とする支援チームの派遣を開始**します。

また、いじめ等に対応するための**教員研修を充実**するほか、非行防止対策等を継続的に支援している県警少年センターの**スクール・サポーターを増員**し、全ての児童・生徒が安心して学習等に取り組むことのできる体制づくりを進めます。

学校におけるいじめ防止対策の推進【一部新規】 735,311千円（別冊99頁）

## 《高校再編》

**小見川高校の福祉コース、小金高校の総合学科、印旛明誠高校の選択科目の新設**など、幅広い教育ニーズに対応するための施設整備を進めます。

**東葛飾高校に併設する中学校**については、平成28年4月の開校に向け建設工事を完了させます。

高等学校再編事業 1,304,400千円（別冊100頁）

## 《特別支援学校の整備》

**特別支援学校**の児童生徒の増加に伴う過密化・教室不足に迅速に対応するため、高等学校や小中学校の空き校舎などを活用した**新設校の整備**を進めます。

特別支援学校整備事業

749,900 千円（別冊 101 頁）

## 《私学助成》

**私立学校経常費補助**については、国の標準単価に上乗せする県単独の補助単価を拡充し、高等学校では17,500円、幼稚園では3,800円とします。

私立学校経常費補助事業

34,849,054 千円（別冊 102 頁）

## 医療・福祉の充実

千葉県は、比較的平均年齢が若い県のため、今後急速に高齢化が進展していくと考えられます。これに伴い増大していく医療・福祉ニーズに対応していくため、医師や看護師などの人材の確保や、高齢者の方が安心して暮らしていける福祉基盤の整備を加速化するなど、医療・福祉の充実を進めていきます。

### 《医師・看護師確保》

地域医療を支える人材確保のため、**医師修学資金・保健師等修学資金の貸付枠を拡充**します。また、新たに、**医師が不足している県内自治体病院への医師派遣事業**を実施するとともに、**病院内保育所や看護師養成学校への支援を拡充**します。

医師修学資金貸付事業	388,800 千円 (別冊 103 頁)
保健師等修学資金貸付事業	229,020 千円 (別冊 103 頁)
医師不足病院医師派遣促進事業【新規】	50,000 千円 (別冊 104 頁)
病院内保育所運営・施設整備事業	493,711 千円 (別冊 105 頁)
看護師養成学校整備促進事業	1,078,670 千円 (別冊 106 頁)

### 《救急医療体制の充実》

**救命救急センター**の医師確保や施設整備への助成を増額するとともに、安定した救急搬送体制の確保のため、**ドクターヘリの運航や関連施設整備に対する助成も増額**します。

救命救急センター運営費補助、施設設備整備費補助	773,462 千円 (別冊 107 頁)
ドクターヘリ運営事業、関連施設整備事業【一部新規】	456,305 千円 (別冊 108 頁)

### 《中核病院の整備》

地域において、**中核的機能や、救急・小児・がんなどの特殊医療機能を担う医療機関の整備に対する補助を新設**し、平成 27 年度は松戸市立病院の整備に対し支援を行います。また、**千葉県がんセンターの増改築**については、平成 30 年度中の新棟オープンを目指し、実施設計を行います。

地域中核医療機関整備促進事業【新規】	71,900 千円 (別冊 109 頁)
がんセンター施設整備事業 (病院事業会計)	73,949 千円 (別冊 110 頁)
	(債務負担行為 392,500 千円)



## 《危険ドラッグ対策》

**危険ドラッグ**の使用を原因とする事件や事故が後を絶たないため、店舗やインターネット等で販売されている薬物の検査を実施するとともに、乱用防止のための広報啓発を強化します。

危険ドラッグ対策事業

25,637千円（別冊111頁）

## 《高齢化対策》

**特別養護老人ホーム**については、今後の高齢化社会の進展を考慮し、さらなる整備を促進するため、**補助単価を1床あたり400万円から450万円へ引き上げ**ます。

また、県単独の補助制度により整備が進んでいる介護事業所等と連携した**サービス付き高齢者向け住宅**への支援も増額し、高齢者が安心して居住できる環境づくりを進めます。

老人福祉施設整備事業補助

4,920,000千円（別冊112頁）  
（債務負担行為 3,864,000千円）

サービス付き高齢者向け住宅整備補助事業

240,000千円（別冊113頁）

## 《福祉の充実》

福祉全般にわたる相談に24時間365日体制で応じている、千葉県独自の制度である**中核地域生活支援センター**については、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、6圏域において新たに自立相談支援事業を開始します。また、障害者の地域での生活の拠点となる**グループホームの整備・運営**に対する支援も増額します。

中核地域生活支援センター事業【一部新規】

302,144千円（別冊114頁）

障害者グループホーム等に対する支援

470,370千円（別冊115頁）

## 《袖ヶ浦福祉センターからの地域移行》

袖ヶ浦福祉センターについては、第三者検証委員会からの最終報告を受け、平成29年度末までの3年間で、利用者の民間・地域移行を進めることとし、**受入先となる民間社会福祉施設の整備や運営費に対する支援**を行います。

袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業【新規】

237,507千円（別冊116頁）

## 《社会保障費》

介護保険サービスに係る経費や後期高齢者医療制度、国民健康保険の医療費の自己負担の軽減、児童手当の支給などを行うための**社会保障費**については、**前年度に比べ約185億円増**の2,555億円を確保しました。なお、重度心身障害者（児）医療給付改善事業については、平成27年8月から現物給付方式に移行します。

社会保障費	255,545,632 千円
重度心身障害者（児）医療給付改善事業	4,248,000 千円

## 環境・文化施策の推進

地球温暖化の影響や、震災・原発事故を契機としたエネルギーの制約など、環境問題は深刻化してきています。これらの問題を克服し、持続可能な社会を実現していくため、省エネルギーや再生可能エネルギー活用の推進を図ります。

また、郷土に愛着と誇りを持てる豊かな心を育むため、文化芸術の振興も進めていきます。

### 《省エネルギーの推進》

省エネルギーの推進を図るため、引き続き**住宅の太陽光発電設備や家庭用燃料電池（エネファーム）**などの設置に対する助成を行うとともに、新たに、**太陽熱利用システム**の設置に対する助成を始めます。また、**避難所や防災拠点となる公共施設等への太陽光発電設備等の導入**を進めるほか、**公用車に新たに燃料電池自動車**を導入します。

住宅用省エネルギー設備等導入促進事業	520,000千円（別冊117頁）
再生可能エネルギー等導入推進基金事業	1,067,448千円（別冊118頁）
公用車への低公害車導入事業	9,540千円（別冊119頁）

### 《生活排水対策》

市町村が行う、**合併処理浄化槽への転換や高度処理型合併浄化槽の設置を促進**する事業への助成を継続するとともに、**浄化槽設置後の法定検査の受検を促進**するため、訪問督促などを行うモデル事業を行います。

生活排水対策浄化槽推進事業	300,000千円（別冊120頁）
浄化槽法定検査受検促進モデル事業【新規】	2,719千円（別冊120頁）

### 《「みどりの愛護」のつどい》

平成28年4月～5月に柏市で行われる、全国「みどりの愛護」のつどいの開催に向け、式典の準備や会場施設の改修等を実施します。

全国「みどりの愛護」のつどい開催準備事業	98,427千円（別冊121頁）
----------------------	------------------

## 《「県民の日」事業》

県民と行政が一体となって、豊かな千葉県を築いていく意識の高揚のために実施している「県民の日」中央行事について、平成27年度は、より多くの県民の方が参加し、楽しめるよう、幕張メッセに会場を移して開催します。

「県民の日」事業

60,000 千円（別冊 122 頁）